

電車のつり革でワイアレス充電

●持続可能な社会の実現が求められる中で、新たな可能性を持つ技術としてワイアレス給電（ワイアレス電力伝送・非接触給電、無線電力伝送など）が注目されています。これまでラジオからスマートフォンなどワイアレスで送る対象がおもに「情報」のみ扱われてきました。しかし近年の技術革新により高周波信号を直流に変換することで「電力」もワイアレスで伝送することが可能になりました。例えば洋上風力発電や宇宙太陽発電によるクリーンエネルギーの拡大や、ワイアレス給電技術を用いた電気自動車における走行距離の改善は脱炭素社会の実現につながります。またバッテリー交換が不要なセンサー機器の実現は、あらゆる人の健康や長寿を効果的にサポートすることが期待されます。

●わたしは祐誠高等学校、情報技術科の2年生です。本校では5年前よりワイアレス給電の応用について研究しており、種々の教材を開発してはコンクールやコンテストに応募、また展示会に出展してきました。過去5年間の実績については「<https://bit.ly/1g2Edir>」をご高覧いただければ幸いです。

●5年前「第一回 Qi ワイヤレスパワーアイデアコンテスト」において中司先輩（現在は久留米工業大学3年）が優勝「<http://bit.ly/1MsgvLg>」されました。その翌年、京都大学のテクノ愛2016にて奨励賞をいただいております。当時はあいにくアイデアのみの受賞でしたが、先輩の意志を引き継ぎ「つり革でスマホ充電」を具現化。先日、株式会社日本政策金融公庫の高橋さまと面談のお許しがあり、ありがたいことにお墨つきをいただきました。もっか同社主催：高校生ビジネスプラン・グランプリの書類作成に奮闘しています。

●わたしは父親の影響をうけ、中学生のころからベンチャー企業の立ちあげを意識してきました。ですから「つり革でスマホ充電」は会社立ちあげの第一歩になればと思います。最後にわたしはSDGsの7番「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」、8番「働きがいも経済成長も」、9番「産業と技術革新の基盤をつくろう」11番「すみ続けられるまちづくりを」、12番「つくる責任つかう責任」について興味があり、勉強しているところです。ご検討のほど、よろしく願いいたします。